

# 令和3年度 岡山県のハンセン病問題対策事業実施実績

## 【全体総括】

- 岡山県ハンセン病問題対策協議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

## 【個別課題への対応】

### 1 偏見・差別解消のための啓発事業のきめ細やかな実施

- (1) 単なるパンフレットの配布等ではなく、啓発資材を活用した語り部等による伝承、対話集会の実施等きめ細やかな事業実施を工夫すること
  - ハンセン病問題に関する講演会等の開催・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
  - 地域交流促進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
  - 啓発DVDの活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
  - 小中学生向けハンセン病問題啓発アニメーション動画作成・・・・・・・・ 4
- (2) ハンセン病に関する正しい情報提供を行うこと
  - ホームページでの啓発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
  - 学習用小冊子の配布・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
  - 6月22日「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」関連事業・・・ 4
  - 啓発パネル等の貸出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
  - 人権啓発現地研修（人権施策推進課・保健福祉課）・・・・・・・・ 5
  - 人権啓発パートナーシップ推進事業費補助金（人権施策推進課）・・・ 5
  - パンフレット等の設置、配布（人権施策推進課）・・・・・・・・ 5
- (3) 道徳副読本問題が提起した偏見・差別の無意識な助長に配慮し、学校教育の中の人権教育において取り上げること
  - 交流研修会の実施等（教育庁）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
  - 児童生徒が人権学習の成果を発信（教育庁）・・・・・・・・・・・・ 5
  - 各種研修会における「第3次岡山県人権教育推進プラン」等の配付・説明（教育庁）・・・ 6
  - 人権教育指導資料の活用の促進等（教育庁）・・・・・・・・・・・・ 6
- (4) 高齢者等への理解を深めるために社会教育活動として生涯学習（出前講座）にも取り組むなど人権意識の涵養をさらに推進すること
  - DVDの販売・無料貸出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
  - 人権教育・啓発指導者講座Iの実施（人権施策推進課・教育庁人権教育・生徒指導課）・・・ 7
- (5) 若い世代に対する啓発は、ハンセン病の正しい知識についてストレートに伝えていくこと
- (6) 主要公立図書館にハンセン病関連文献コーナーを設置すること
  - 県立図書館への設置（教育庁生涯学習課）・・・・・・・・・・・・ 7
  - 啓発パネル・関連図書の展示（教育庁生涯学習課）・・・・・・・・ 7

### 2 福祉増進施策の実施

- (1) 入所者を訪問し、県に対する要望などの意向調査を行うこと
  - 議会と保健福祉部による合同訪問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
  - 入所者激励費の贈呈・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- (2) 社会復帰支援員を設置し、社会復帰希望者からの相談に対応するとともに、当面、住宅、医療等の確保が求められている状況を受けて、継続的に入所者及び親族や関係市町村等との連絡調整等の支援を行うこと
  - 社会復帰支援員による支援活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
  - 社会復帰推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

(3) 住宅の確保について、関係市町村とも十分連携しながら公営住宅の優先入居や民間住宅の入居斡旋等の支援を行うこと	
○県営住宅の優先入居（住宅課）	8
●住宅費の一部補助	8
(4) 医療の確保について、退所者に対する在宅医療の確保や療養所の協力医師、協力医療機関の確保、医療関係者の研修を目的として、療養所、入所者自治会と関係自治体、医療関係団体等との協議の場を設ける等の支援を行うこと	
●個別案件ごとに対応	9
●医療費、介護保険利用料の補助	9
(5) 本人の希望に応じ、里帰り希望者には個別対応を行うこと	
●岡山県出身者への訪問	9
●意向を伺い、個別案件ごとに対応	9
<b>3 両園保有史料の保全策に関する国への要望の実施</b>	
●史料の保全に関する国への要望	9
<b>4 今後体制を整えた上で、さらに行う取り組み</b>	
(1) ハンセン病療養所入所者に対する聞き取り調査の実施	
●小冊子への体験談の掲載	10
(2) 関連資料・史料の収集・蓄積	
●資料集刊行、収集した史料の保存・公開	10

※●健康推進課の実施事業

## 全 体 統 括

### ●岡山県ハンセン病問題対策協議会

#### 第1回

令和3年9月6日 開催

#### <議題>

- 1 令和3年度協議会会長互選
- 2 令和2年度事業実施実績
- 3 令和3年度事業実施状況
- 4 その他

#### 第2回

令和4年3月10日 開催

#### <議題>

- 1 令和3年度事業実施状況
- 2 令和4年度事業実施計画
- 3 その他

## 個 別 課 題 へ の 対 応

### 1 偏見・差別解消のための啓発事業のきめ細やかな実施

(1)単なるパンフレットの配布等でなく、啓発資材を活用した語り部等による伝承、対話集会の実施等きめ細やかな事業実施を工夫すること

### ●ハンセン病問題に関する講演会等の開催 入所者による学校講演会

実施校 10校 868人

1	10月1日	真庭市立遷喬小学校	6年生・教師	76人	担当：長島愛生園
2	10月7日	西粟倉村立西粟倉小学校	6年生	19人	担当：邑久光明園
3	10月12日	備前市立日生東小学校(リモート)	5・6年生・保護者	60人	担当：長島愛生園
4	10月20日	総社市立総社中学校	2・3年生	164人	担当：邑久光明園
5	10月21日	美作市立作東中学校	2年生	39人	担当：邑久光明園
6	10月22日	瀬戸内市立国府小学校	6年生	48人	担当：長島愛生園
7	11月11日	津山市立北陵中学校	1年生	211人	担当：長島愛生園
8	11月19日	美作市立大原中学校	2年生・保護者	60人	担当：邑久光明園
9	11月30日	津山市立北小学校	6年生	33人	担当：長島愛生園
10	12月7日	岡山市立幡多小学校	6年生	158人	担当：長島愛生園

#### 参加した児童・生徒の感想(主なもの)

- ・療養所内でどれだけ酷い事をされてきたのかわかりました。厳しい法律による制限の中で患者の方々は辛かっただろうなと思いました。
- ・お話を聞いて、私は命の大切さ、いじめや差別を無くすことが大切だと思い、また、一人一人が人権問題について真剣に向き合い、正しいことを理解するだけではなく、私達にできることを考えることも大切だと思いました。
- ・ハンセン病になることで自由が奪われたり、差別や偏見を受けたりすることがわかりました。今もコロナウイルスが流行していますが、全てにおいて差別や偏見があってはならないと強く思いました。

### ●地域交流促進事業

県民が実施する地域交流事業への補助 7件実施 (約360人)

R2年度 4件、約350人

- 啓発DVDの活用  
随時 図書館等での視聴・貸出等

・学校講演会等における事前学習や  
地域での人権研修等で活用

- 小中学生向けハンセン病問題啓発アニメーション動画作成

人格の形成期にあたる幼少期から、ハンセン病の元患者や家族をテーマとした学びを通じて得られる普遍的教訓や人権感覚を自然に身に付けられるよう、アニメーション動画を作成し、3月下旬に公開  
(令和3年度(社福)ふれあい福祉協会のハンセン病対策促進事業を活用)

## (2)ハンセン病に関する正しい情報提供を行うこと

- ホームページでの啓発

おかやまハンセン病啓発WEB [www.hansen-okayama.jp](http://www.hansen-okayama.jp)  
「ハンセン病を正しく理解するために～みんなで描くひとつの道～」  
通年 公開開始：H14.6.24  
リニューアル：R3.2.26

アクセス数 1,819件(R3.4.1～R4.3.31)

- 学習用小冊子の配布

随時 学校・市町村等へ配布、長島愛生園歴史館・邑久光明園等での活用

- ・冊子配布に加えホームページに冊子のPDFデータを掲載

問い合わせのあった、県内外の学校・市町村、市教育委員会等へ配布  
学習用小冊子 約4,520部 (R3.4.1～R4.3.31)

- 6月22日「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」関連事業  
ハンセン病問題に関する普及啓発及びパネル展開催に係る各種広報

「らい予防法」廃止25周年、国賠訴訟判決20周年を記念し、

- ・路面電車へ中吊り広告を掲出(令和3年6月13日～22日)
- ・県立図書館、県立記録資料館と連携してパネル展を実施
  - ①県庁会場(令和3年6月14日～25日)
  - ②県立図書館(令和3年6月22日～7月18日)
  - ③県立記録資料館(令和3年6月22日～7月18日)

●啓発パネル等の貸出  
随時 希望に応じて貸出

- ・県立図書館(令和3年6月22日～7月18日)
- ・玉野光南高校(令和3年5月7日～20日)
- ・総社中学校(令和3年9月28日～10月19日)

○人権啓発現地研修(人権施策推進課・保健福祉課)

県職員が療養所を訪問し、その歴史と現状を学ぶとともに、人権についての正しい理解と認識を深め、人権行政の担い手としての資質の向上に役立てる。

令和元年度より、実施回数を1回とし、県立邑久高校生の研究発表を聞く場を設けるなど内容を充実させて実施した。

令和3年11月9日 長島愛生園 33名参加

○人権啓発パートナーシップ推進事業費補助金(人権施策推進課)

県民協働による人権尊重社会の実現を目指して、NPO法人等が行う人権意識の高揚を図るための啓発事業に対し、その経費の一部を補助する。

補助団体名：公益財団法人邑久光明園友愛会

補助事業名：人権啓発展示会

交付決定額：150,000円

○パンフレット等の設置、配布(人権施策推進課)

随時 公民館・図書館等の公共施設に設置した人権情報コーナー(202か所)での情報提供

(3)道徳副読本問題が提起した偏見・差別の無意識な助長に配慮し、学校教育の中の人権教育において取り上げること

○交流研修会の実施等(教育庁)

国立療養所の園長による講義、資料展示室の見学等を通して、ハンセン病問題についての正しい理解を図る研修。

- ・人権教育担当者研修講座

邑久光明園における現地研修(令和3年9月)→中止(コロナのため)

○児童生徒の人権学習の成果を発信(教育庁)

人権学習の成果を踏まえた人権啓発メッセージ動画を募集した。

(令和3年度「わたしの人権メッセージ動画チャレンジ」)

優秀賞作品 → 教育庁人権教育・生徒指導課のホームページで紹介

(ハンセン病問題を取り上げている作品：3作品)

○研修会において「第3次岡山県人権教育推進プラン」等の配付・説明(教育庁)初任者研修を中心に資料を配付し、説明を行った。

<配付資料・説明の内容>

- ・「第3次岡山県人権教育推進プラン」について
- ・ハンセン病問題学習の充実に向けて(県の事業、小冊子「ハンセン病問題のこと正しく知っていますか?」等の紹介、配付)

○人権教育指導資料の活用の促進等(教育庁)

授業等で活用できる指導資料(「人権教育実践事例集・環境づくり編」「人権学習ワークシート集(上)」「ワークショップ(下)」「人権学習実践事例集」等)や視聴覚教材等について各種研修会で紹介し、活用を促す。

<作品名>

作品名:普及啓発DVD「未来への絆～ハンセン病問題から学ぶ～」  
(字幕入り)(平成30年2月改訂作品)

<内 容>

長島愛生園・邑久光明園の関係者へのインタビューから学べるハンセン病の基礎知識から始まり、入所者と施設見学に来た小中学生との交流や学校での語り部講演等を通して若い世代に語り継ぐ姿等を収録。

(注)「人権教育実践事例集・環境づくり編」「人権学習ワークシート集(上)」「人権学習実践事例集」は、人権教育・生徒指導課HPでも紹介している。

(4)高齢者等への理解を深めるために社会教育活動として生涯学習(出前講座)にも取り組むなど人権意識の涵養をさらに推進すること

●DVDの販売・無料貸出

通年 制作委託会社に販売委託、健康推進課・県立図書館において無料貸出

- ①「ハンセン病を正しく理解するために」3,000円  
ハンセン病全般がわかる啓発DVD29分  
語り部証言集12名:157分
- ②「今、わたしたちができること」1,000円  
小・中・高校生向けハンセン病啓発DVD14分
- ③「未来への絆～ハンセン病問題から学ぶ～」(無料貸出のみ)  
入所者との交流や語り部講演、人権教育の場としての長島の紹介32分
- ④「語り部講演映像」(無料貸出のみ)  
4名の語り部講演映像の啓発DVD136分

・販売状況 5枚(R3.4.1～R4.3.31)(①②のみ)

※愛生園歴史館、国立ハンセン病資料館での販売分は未計上

・無料貸出 26枚(R3.4.1～R4.3.31)

○人権教育・啓発指導者講座Ⅰの実施

(人権施策推進課・教育庁人権教育・生徒指導課)

人権問題の早期解決に向けて人権問題相互の関連を図り、自らの課題として捉え、日常生活で生かせる人権感覚を身に付けるための教育・啓発活動を推進できる指導者を養成するため、全4回の研修のうちの一つとして、邑久光明園と参加者をオンラインで繋いで研修を行った。

実施日 : 令和3年10月1日(金)

受講者 : 22名

研修内容 : 園長講演、入所者の話、園内の紹介DVD視聴

(5)若い世代に対する啓発は、ハンセン病の正しい知識についてストレートに伝えていくこと

各啓発活動の中で配慮

(6)主要公立図書館にハンセン病関連文献コーナーを設置すること

○県立図書館への設置(教育庁生涯学習課)

通年 ハンセン病関連文献コーナーを設置

県内市町村立図書館にも、ハンセン病関連の蔵書あり

○啓発パネル・関連図書の展示(教育庁生涯学習課)

令和3年6月22日～7月18日 県立図書館2階 郷土資料部門にて  
「学ぼう!ハンセン病問題」展示

- ・パネル12枚と関連資料約140点を展示
- ・県や療養所作成のリーフレット等を配布

## 2 福祉増進施策の実施

(1)入所者を訪問し、県に対する要望などの意向調査を行うこと

●議会と保健福祉部による合同訪問

令和3年7月13日、「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」(6月22日)に合わせて、環境文化保健福祉委員長及び保健福祉部次長が長島愛生園及び邑久光明園を訪問

納骨堂への献花。園長、自治会役員と懇談。コロナ禍における人権問題などについてお話を伺った。

- 入所者激励費の贈呈（ハンセン病療養所入所者に対するもののみ）  
12月16日（木）に副知事が訪問し、贈呈  
対象：長島愛生園及び邑久光明園の入所者全員

園長や自治会長、自治会役員等と懇談。納骨堂への献花。長島を人権の島として将来も残したいこと、ハンセン病患者等に関する個人情報の取扱いについての要望を伺った。

- (2) 社会復帰支援員を設置し、社会復帰希望者からの相談に対応するとともに、当面、住宅、医療等の確保が求められている状況を受けて、継続的に入所者及び親族や関係市町村等との連絡調整等の支援を行うこと

- 社会復帰支援員による支援活動  
平成23年度末をもって、活動終了

- 社会復帰推進事業  
療養所全体としての社会復帰を推進するため、療養所を訪問して行う、交流活動への補助  
1件（約8人）実施

R2年度 1件（18人）

- (3) 住宅の確保について、関係市町村とも十分連携しながら公営住宅の優先入居や民間住宅の入居斡旋等の支援を行うこと

- 県営住宅の優先入居（住宅課）  
年4回 健康推進課及び住宅課において対応

実績なし

- 住宅費の一部補助  
随時 生活保護基準により支給（例）岡山市37,000円／月  
「岡山県ハンセン病療養所等退所者助成金支給要領」



(4) 医療の確保について、退所者に対する在宅医療の確保や療養所の協力医師、協力医療機関の確保、医療関係者の研修を目的として、療養所、入所者自治会と関係自治体、医療関係団体等との協議の場を設ける等の支援を行うこと

- 個別案件ごとに対応  
随時 関係自治体、医師会との協議

社会復帰者については、健康推進課で随時対応要望等、特になし

社会復帰希望者の要望を踏まえ、関係自治体や医療機関等と連絡調整

- 医療費、介護保険利用料の補助  
随時 (例) 自己負担上限(市民税非課税) ・医療費・介護費 各15,000円/月  
「岡山県ハンセン病療養所等退所者助成金支給要領」

(5) 本人の希望に応じ、里帰り希望者には個別対応を行うこと

- 岡山県出身者への訪問  
新型コロナウイルス感染症の影響により面会できない状況であった。  
里帰り助成金については贈呈済み。

- 意向を伺い、個別案件ごとに対応  
里帰り、墓参りへの支援等について個別案件ごとに対応

### 3 両園保有史料の保全策に関する国への要望の実施

- 史料の保全に関する国への要望

令和4年度要望

内容: 将来構想の実現に向け、全力で取り組むこと。

ハンセン病療養所が保有する歴史的建造物や過去の貴重な文献等の資料を保全し、普及啓発に活用すること。

(参考)

国の登録有形文化財として登録 (平成31年3月)

【長島愛生園】旧事務本館など5件

【邑久光明園】恩賜会館など5件

#### 4 今後体制を整えた上で、さらに行う取り組み

- (1)ハンセン病療養所入所者に対する聞き取り調査の実施  
自治会及び園当局の協力を得て、聞き取り調査を実施し、了解が得られる方の聞き取り調査結果については、啓発資料として活用すること

- 小冊子への体験談の掲載  
通年 入所者の体験談を掲載した小冊子を、語り部講演会、学校等での人権学習に活用

掲載して活用中  
配付部数 約 4,520 部 (R3.4.1～R4.3.31)  
配付先(主なもの)  
学校、市町村、市教育委員会等

- (2)関連資料・史料の収集・蓄積  
広く県民に対して関連資料の提供を呼びかけるとともに、歴史研究者の協力を得て、岡山県及び市町村保存史料等の調査・研究を進め、偏見・差別解消に向けた取組みの一環として、これらの調査・研究を通じて明らかにされる事実を題材として、県民に対する啓発を行うこと

- 資料集刊行、収集した史料の保存・公開  
通年 平成20年度までに刊行した資料集制作の際等に収集した史料を、平成21年度末に県立記録資料館へ引き継ぎ済。  
県立記録資料館において、史料の公開(H27年1月6日～)。  
なお、史料開示の相談があった場合は、個別案件ごとに対応している。

※●健康推進課の実施事業

# 令和4年度 岡山県のハンセン病問題対策事業実施状況

## 【全体総括】

- 岡山県ハンセン病問題対策協議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

## 【個別課題への対応】

### 1 偏見・差別解消のための啓発事業のきめ細やかな実施

- (1) 単なるパンフレットの配布等ではなく、啓発資材を活用した語り部等による伝承、対話集会の実施等きめ細やかな事業実施を工夫すること
  - ハンセン病問題に関する講演会等の開催・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
  - 地域交流促進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
  - 啓発DVDの活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
  - 小中学生向けハンセン病問題啓発アニメーション動画の活用・・・・ 13
- (2) ハンセン病に関する正しい情報提供を行うこと
  - ホームページでの啓発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
  - 学習用小冊子の配布・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
  - 6月22日「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」関連事業・・ 14
  - 啓発パネル等の貸出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
  - 人権啓発研修（人権施策推進課・保健福祉課）・・・・・・・・・・・・ 14
  - 人権啓発パートナーシップ推進事業費補助金（人権施策推進課）・・ 15
  - パンフレット等の設置、配布（人権施策推進課）・・・・・・・・・・・・ 15
- (3) 道徳副読本問題が提起した偏見・差別の無意識な助長に配慮し、学校教育の中の人権教育において取り上げること
  - 交流研修会の実施等（教育庁）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
  - 児童生徒が人権学習の成果を発信（教育庁）・・・・・・・・・・・・ 15
  - 各種研修会における「第4次岡山県人権教育推進プラン」等の配付・説明（教育庁）・・ 15
  - 人権教育指導資料の活用の促進等（教育庁）・・・・・・・・・・・・ 16
- (4) 高齢者等への理解を深めるために社会教育活動として生涯学習（出前講座）にも取り組むなど人権意識の涵養をさらに推進すること
  - DVDの販売・無料貸出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
  - 人権教育・啓発指導者講座Iの実施（人権施策推進課・教育庁人権教育・生徒指導課）・・ 17
- (5) 若い世代に対する啓発は、ハンセン病の正しい知識についてストレートに伝えていくこと
- (6) 主要公立図書館にハンセン病関連文献コーナーを設置すること
  - 県立図書館への設置（教育庁生涯学習課）・・・・・・・・・・・・ 17
  - 啓発パネル・関連図書の展示（教育庁生涯学習課）・・・・・・・・・・・・ 17

### 2 福祉増進施策の実施

- (1) 入所者を訪問し、県に対する要望などの意向調査を行うこと
  - 議会と保健福祉部による合同訪問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
  - 入所者激励費の贈呈・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- (2) 社会復帰支援員を設置し、社会復帰希望者からの相談に対応するとともに、当面、住宅、医療等の確保が求められている状況を受けて、継続的に入所者及び親族や関係市町村等との連絡調整等の支援を行うこと
  - 社会復帰支援員による支援活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
  - 社会復帰推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

(3) 住宅の確保について、関係市町村とも十分連携しながら公営住宅の優先入居や民間住宅の入居斡旋等の支援を行うこと	
○県営住宅の優先入居（住宅課）	18
●住宅費の一部補助	18
(4) 医療の確保について、退所者に対する在宅医療の確保や療養所の協力医師、協力医療機関の確保、医療関係者の研修を目的として、療養所、入所者自治会と関係自治体、医療関係団体等との協議の場を設ける等の支援を行うこと	
●個別案件ごとに対応	19
●医療費、介護保険利用料の補助	19
(5) 本人の希望に応じ、里帰り希望者には個別対応を行うこと	
●岡山県出身者への訪問	19
●意向を伺い、個別案件ごとに対応	19
<b>3 両園保有史料の保全策に関する国への要望の実施</b>	
●史料の保全に関する国への要望	19
<b>4 今後体制を整えた上で、さらに行う取り組み</b>	
(1) ハンセン病療養所入所者に対する聞き取り調査の実施	
●小冊子への体験談の掲載	20
(2) 関連資料・史料の収集・蓄積	
●資料集刊行、収集した史料の保存・公開	20

※●健康推進課の実施事業

## 全 体 統 括

### ●岡山県ハンセン病問題対策協議会

#### 第1回

令和4年8月23日 開催

#### <議題>

- 1 令和3年度事業実施実績
- 2 令和4年度事業実施状況
- 3 その他

#### 第2回

令和5年3月 開催予定

## 個 別 課 題 へ の 対 応

### 1 偏見・差別解消のための啓発事業のきめ細やかな実施

(1)単なるパンフレットの配布等でなく、啓発資材を活用した語り部等による伝承、対話集会の実施等きめ細やかな事業実施を工夫すること

- ハンセン病問題に関する講演会等の開催  
語り部講演会 7校で実施予定  
(最大10校、10月中旬まで申込受付)

内訳は、小学校3校、中学校4校

- 地域交流促進事業  
県民が実施する地域交流事業への補助  
随時 20件を予定

申請件数11件、678人(7月末現在)

- 啓発DVDの活用  
随時 図書館等での視聴・貸出等

・療養所訪問研修等における事前学習

- 小中学生向けハンセン病問題啓発アニメーション動画の活用  
※入所者エピソード2編、歴史解説1編  
(令和4年3月ホームページ・YouTubeにて一般公開)

総視聴回数 約3,500回(~R4.7月末時点)

・パネル展(県庁会場)での上映  
・他団体のイベントでの上映

## (2)ハンセン病に関する正しい情報提供を行うこと

### ●ホームページでの啓発

おかやまハンセン病啓発WEB [www.hansen-okayama.jp](http://www.hansen-okayama.jp)

「ハンセン病を正しく理解するために～みんなで描くひとつの道～」

通年 公開開始：H14.6.24

リニューアル：R3.2.26

アクセス数 1,194件(R4.4.1～R4.7.31)

### ●学習用小冊子の配布

随時 学校・市町村等へ配布、長島愛生園歴史館・邑久光明園等での活用  
冊子配布に加えホームページに冊子のPDFデータを掲載

問い合わせのあった学校、市教育委員会等へ配付

学習用小冊子「ハンセン病のこと正しく知っていますか？」

約660部(令和4年7月末現在)

### ●6月22日「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」関連事業

ハンセン病問題に関する普及啓発及びパネル展開催に係る各種広報

路面電車へ中吊り広告を掲出

期間：令和4年6月13日(月)～6月22日(水)

パネル展

期間：令和4年6月20日(月)～7月1日(金)

場所：県庁1階県民室

内容：パネル17枚や関連書籍等の展示、アニメーションの上映

### ●啓発パネル等の貸出

随時 希望に応じて貸出

・県立図書館(令和4年4月15日～6月26日)

・(公財)人権教育啓発推進センター(令和4年7月1日～8月5日)

### ○人権啓発研修(人権施策推進課・保健福祉課)

県職員が療養所を訪問し、その歴史と現状を学ぶとともに、人権についての正しい理解と認識を深め、人権行政の担い手としての資質の向上に役立てる。

令和5年1月24日(予定)

長島愛生園

30名参加見込

○人権啓発パートナーシップ推進事業費補助金（人権施策推進課）  
県民協働による人権尊重社会の実現を目指して、NPO法人等が行う人権意識の高揚を図るための啓発事業に対し、その経費の一部を補助する。  
補助団体名：公益財団法人邑久光明園友愛会  
補助事業名：人権啓発展示会  
交付決定額：150,000円

○パンフレット等の設置、配布（人権施策推進課）  
随時 公民館・図書館等の公共施設に設置した人権情報コーナー（202か所）での情報提供

**(3) 道徳副読本問題が提起した偏見・差別の無意識な助長に配慮し、学校教育の中の人権教育において取り上げること**

○交流研修会の実施等（教育庁）  
国立療養所の園長による講義、入所者による講話等を通して、ハンセン病問題についての正しい理解を図る研修を実施する。

- ・人権教育担当者研修講座  
邑久光明園において、令和4年9月27日（火）に定員20人で実施予定

○児童生徒の人権学習の成果を発信（教育庁）  
人権学習の成果を踏まえた人権啓発メッセージ動画を募集。  
（令和4年度「わたしの人権メッセージ動画チャレンジ」）  
優秀賞作品 → 教育庁人権教育・生徒指導課のホームページで紹介  
（参考：ハンセン病問題を取り上げている作品→R3は3作品）

○各種研修会における、「第4次岡山県人権教育推進プラン」等の配付・説明（教育庁）  
市町村の人権教育担当者、各学校の人権教育担当者、初任者等を対象にした研修会で、資料を配付し、説明を行う。

<配付資料・説明の内容>  
・「第4次岡山県人権教育推進プラン」について  
・「人権問題に関する県民意識調査（令和元年8月調査）」結果概要について  
・ハンセン病問題学習の充実に向けて（県の事業、小冊子「ハンセン病問題のこと 正しく知っていますか？」等の紹介、配付）

○人権教育指導資料の活用の促進等（教育庁）

授業等で活用できる指導資料（「人権教育実践事例集・環境づくり編」「人権学習ワークシート集（上）」「ワークショップ（下）」「人権学習実践事例集」等）や視聴覚教材等について各種研修会で紹介し、活用を促す。

<作品名>

- ・普及啓発DVD「未来への絆～ハンセン病から学ぶ～」  
（字幕入り）（平成30年2月改訂作品）
- ・YouTube 法務省チャンネル「ハンセン病問題を知る～元患者と家族の思い～」
- ・（校内研修用）講義動画「校内研修シリーズ：ハンセン病問題学習 差別の連鎖を絶つーハンセン病問題から学び、伝えるー」

（注）「人権教育実践事例集・環境づくり編」「人権学習ワークシート集（上）」は、人権教育・生徒指導課HPでも紹介している。

（4）高齢者等への理解を深めるために社会教育活動として生涯学習（出前講座）にも取り組むなど人権意識の涵養をさらに推進すること

●DVDの販売・無料貸出

通年 制作委託会社に販売委託、健康推進課・県立図書館において無料貸出

- ①「ハンセン病を正しく理解するために」3,000円  
ハンセン病全般がわかる啓発DVD29分  
語り部証言集12名：157分
- ②「今、わたしたちができること」1,000円  
小・中・高校生向けハンセン病啓発DVD14分
- ③「未来への絆～ハンセン病問題から学ぶ～」（無料貸出のみ）  
入所者との交流や語り部講演、人権教育の場として長島の紹介32分
- ④「語り部講演映像」（無料貸出のみ）  
4名の語り部講演映像の啓発DVD136分

販売状況 0枚（令和4年7月末現在）（①②のみ）

※愛生園歴史館、国立ハンセン病資料館での販売分は未計上

無料貸出 11枚（令和4年7月末現在）



○人権教育・啓発指導者講座Ⅰの実施

(人権施策推進課・教育庁人権教育・生徒指導課)

人権問題の早期解決に向けて人権問題相互の関連を図り、自らの課題として日常生活の中に生かせる人権感覚を身につけるための教育・啓発活動を推進できる指導者を養成するため、全4回の研修のうちの一つとして、邑久光明園において現地研修を行う。

実施日 : 令和4年10月7日(金)

受講者 : 35名(予定)

研修内容 : 講義、フィールドワーク、資料展示室見学

(5)若い世代に対する啓発は、ハンセン病の正しい知識についてストレートに伝えていくこと

各啓発活動の中で配慮

(6)主要公立図書館にハンセン病関連文献コーナーを設置すること

○県立図書館への設置(教育庁生涯学習課)

通年 ハンセン病関連文献コーナーを設置

県内市町村立図書館にも、  
ハンセン病関連の蔵書あり

○啓発パネル・関連図書の展示(教育庁生涯学習課)

令和4年4月28日～6月26日 県立図書館2階 郷土資料部門 にて  
「学ぼう!ハンセン病問題」展示

- ・パネル12枚と関連資料約150点を展示
- ・県や療養所作成のリーフレット等を配付

## 2 福祉増進施策の実施

### (1) 入所者を訪問し、県に対する要望などの意向調査を行うこと

- 議会と保健福祉部による合同訪問

令和4年7月11日、6月22日の「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」に合わせて、環境文化保健福祉委員長及び保健福祉部理事が長島愛生園及び邑久光明園を訪問

納骨堂への献花。園長、自治会役員と懇談。  
「ハンセン病元患者家族に対する補償金の支給等に関する法律」施行後の状況、コロナ禍での啓発活動状況について情報共有したほか、今年度の花火(夏祭り)、療養所での最近の生活の話などをした。

- 入所者激励費の贈呈 (ハンセン病療養所入所者に対するもののみ)

例年、12月に県幹部が訪問し、贈呈  
対象：長島愛生園及び邑久光明園の入所者全員

### (2) 社会復帰支援員を設置し、社会復帰希望者からの相談に対応するとともに、当面、住宅、医療等の確保が求められている状況を受けて、継続的に入所者及び親族や関係市町村等との連絡調整等の支援を行うこと

- 社会復帰支援員による支援活動

平成23年度末をもって、活動終了

- 社会復帰推進事業

療養所全体としての社会復帰を推進するため、療養所を訪問して行う、交流活動への補助

随時 約5件を予定

申請件数2件、153人(7月末現在)

### (3) 住宅の確保について、関係市町村とも十分連携しながら公営住宅の優先入居や民間住宅の入居斡旋等の支援を行うこと

- 県営住宅の優先入居 (住宅課)

年4回 健康推進課及び住宅課において対応

実績なし

- 住宅費の一部補助

随時 生活保護基準により支給 (例)岡山市(単身)37,000円/月  
「岡山県ハンセン病療養所等退所者助成金支給要領」

(4) 医療の確保について、退所者に対する在宅医療の確保や療養所の協力医師、協力医療機関の確保、医療関係者の研修を目的として、療養所、入所者自治会と関係自治体、医療関係団体等との協議の場を設ける等の支援を行うこと

- 個別案件ごとに対応  
随時 関係自治体、医師会との協議

社会復帰者については、健康推進課で随時対応要望等、特になし

社会復帰希望者の要望を踏まえ、関係自治体や医療機関等と連絡調整

- 医療費、介護保険利用料の補助  
随時 自己負担上限(市民税非課税) ・ 医療費 24,600円/月

「岡山県ハンセン病療養所等退所者助成金支給要領」

(5) 本人の希望に応じ、里帰り希望者には個別対応を行うこと

- 岡山県出身者への訪問

- ・ 令和4年7月11日 長島愛生園 6名  
訪問時に、見舞金と里帰り助成金を贈呈した。新型コロナウイルス感染症の影響及び県人会の方の高齢化に伴い、個別の面談は難しい状況にある。

- ・ 令和4年10月頃(予定)  
多摩全生園 1名  
神山復生病院 1名

過去2年間、新型コロナウイルス感染症の影響で訪問を見合わせていたが、今年度は、感染状況を考慮し、10月頃に訪問予定。訪問時に、見舞金及び里帰り助成金を贈呈し、近況や県への要望などを伺う。

- 意向を伺い、個別案件ごとに対応  
里帰り、墓参りへの支援等について個別案件ごとに対応

### 3 両園保有史料の保全策に関する国への要望の実施

- 史料の保全に関する国への要望

令和5年度重点要望

(参考)

国の登録有形文化財として登録(平成31年3月)

【長島愛生園】旧事務本館など5件

【邑久光明園】恩賜会館など5件

内容: 将来構想の実現に向け、全力で取り組むこと。  
ハンセン病療養所が保有する歴史的建造物や過去の貴重な文献等の資料を保全し、普及啓発に活用すること。

#### 4 今後体制を整えた上で、さらに行う取り組み

(1)ハンセン病療養所入所者に対する聞き取り調査の実施  
自治会及び園当局の協力を得て、聞き取り調査を実施し、了解が得られる方の聞き取り調査結果については、啓発資料として活用すること

- 小冊子への体験談の掲載  
通年 入所者の体験談を掲載した小冊子を、語り部講演会、学校等での人権学習に活用

掲載して活用中  
配付部数 約660部(7月末現在)

配付先(主なもの)  
学校、市町村、市教育委員会等

(2)関連資料・史料の収集・蓄積

広く県民に対して関連資料の提供を呼びかけるとともに、歴史研究者の協力を得て、岡山県及び市町村保存史料等の調査・研究を進め、偏見・差別解消に向けた取組みの一環として、これらの調査・研究を通じて明らかにされる事実を題材として、県民に対する啓発を行うこと

- 資料集刊行、収集した史料の保存・公開

通年 平成20年度までに刊行した資料集制作の際等に収集した史料を、平成21年度末に県立記録資料館へ引き継ぎ済。

県立記録資料館において、史料の公開(H27年1月6日～)。  
なお、史料開示の相談があった場合は、個別案件ごとに対応している。

※●健康推進課の実施事業